



会長	阿部賢悟	幹事	遠藤光則	会報	飯塚仁哉	渡辺光悦
	江川元徳		布施孝尚			
例会場	サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327					
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30					
事務所	サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327					

第2294回例会 2011. 3. 10 No.31

本日の出席率

- ・本日の出席率 82.69%
- ・前回確定出席率 98%

ニコニコボックス

- ・阿部賢悟会長 台北西門RC創立34周年記念式典に7名で参加してまいります。
- ・佐々木一寛会員 本日の例会は、私のスピーチです。ゲストスピーカーを依頼しましたので、よろしくをお願いします。
- ・飯塚仁哉会員 南部杜氏の古里、石鳥谷は佐々木一寛会員の出身地です。新酒のように芳醇でコクのある話を期待したのですが、酒ならぬ血液のゲストスピーカーのようで……。
- ・高田次雄会員 啓蟄も過ぎ、そろそろ暖かい日が続くものと思っておりましたが、寒の戻りなのか雪と寒さが続いております。皆さんご自愛下さい。誕生日のスピーチ勉強させていただきます。
- ・二階堂敏雄会員 しばらく休ませていただきました。すみませんでした。
- ・遠藤光則幹事以下 佐々木一寛会員担当、ゲストスピーチに期待して。
鈴木彦太会員 布施孝之会員 佐々木崇会員
阿部泰彦会員 佐藤敬喜会員 氏家良典会員
山田直志会員 二階堂學会員 菅原文之会員
佐藤静市会員 猪股育夫会員 佐々木源悦会員
熊谷敏明会員 高橋利光会員 富士原裕子会員
武川毅会員 只野佳旦会員 高橋義文会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 阿部賢悟会長

昨日、今朝と三陸沖を震源とする強い地震がありました。皆様、被害はありませんでしたか？大丈夫でしたか？高い確率で起きるといわれております三陸沖の

地震、ニュージーランドの地震のことを思い出しますと非常に心配するところがあります。無事におさまることを願っております。この地区に住んでおりますと私共は地震に対する備えだけはしっかりとする必要があります。改めて備えの確認をお願いしたいと思います。

先週は、山田直志環境保全委員長によりますフォーラム、大変実のあるものでした。提起されました諸問題を鑑み、これからも継続してやっていきたいと考えております。次期の菅原文之会長よりよろしくお願い致します。

3月7日に、長期交換留学生に関する特別委員会を開催致しました。高橋利光国際奉仕委員長、佐竹孝行ロータリー財団委員長を中心に進めました。既にご存知の登米町出身の村上真菜さん(佐高1年生)が長期交換留学生としてアメリカに行きます。交換ですのでフロリダからレイチェルさん(18歳)が当クラブで受け入れ、1年間佐沼高校に通います。そのホームステイ先等について話し合いをしました。次年度に亘る長期のプロジェクトです。八谷郁夫パストガバナーがこのプロジェクトの委員長に推薦され、そして、この1年間皆様のご協力を得て事業を進めて参ります。又、3月31日に当地区に来ますGSEは、RI3480地区の台北チームです。当分区では4月5日~10日まで栗駒RCと佐沼RCで引き受けることになっております。もう一つ米山奨学生の世話クラブを引き受けました。

3月15日には、台北西門RC創立34周年記念式典があります。当クラブは2月に観桜のため訪問してきたばかりですが、今年度は、当クラブが姉妹クラブの中で役目がありますので、会員、家族7名で訪問しお祝いして参りたいと思います。3月13日~17日の予定で訪問します。

幹事報告 遠藤光則幹事

- ・地区大会の案内
日時 4月23日(土)
・RI会長代理歓迎晩餐会 17:00~
・親睦記念ゴルフ大会 8:30スタート
(於)メイプルカントリークラブ
- 4月24日(日)
・本会議 12:00登録受付、12:50着席
(於)盛岡市民文化ホール
・懇親会 18:50~
(於)ホテルメトロポリタン盛岡
※出欠表を回していますのでご記入下さい。
- ・GSEの資料を配布しました。ご協力下さい。
- ・長期交換留学生の資料を配布しました。ホストファミリーを募集しています。(3ヶ月位)
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届きました。

◎壮行式 訪台3月13日~17日 7名

- ・会長のあいさつ
3月13日に出発し、台北西門RC創立34周年記念式典に出席して参ります。江川元徳会員ご夫妻、後藤益美会員ご夫妻、佐藤幸一パスト会長、私と妻の7名で3月15日の記念式典に出席致します。留守の間よろしくお願ひ致します。

今週のスピーチ (担当:佐々木一寛会員)

「献血について」 宮城県赤十字血液センター 献血推進課長 早坂 勤様
資料として「愛のかたち献血」をテーブルの上に置かせていただきました。これをめくりめくり献血についてお話したいと思います。血液、献血に理解を深めていただければと思います。

日本人の血液型について言いますと、10人中A型が4人、O型が3人、B型が2人、AB型が1人というのが日本人の平均的な割合です。これはあくまで平均的なものであって、石巻地区ではB型が多かったりと、地域によって多少違ってきます。

みなさまの善意でいただいた血液から医療にはなくてはならない各種の血液製剤をつくります。皆様の献血でご協力いただいた血液からつくられる輸血用血液製剤には、赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤、全血製剤があります。

全血と言うのは昔のやり方で、採ったものをそのまま輸血するというもので、今はほとんど使っていません。現在は、赤血球、血漿、血小板というように分けて使っております。仙台に献血ルームがあり、そこでは成分献血というのがあり、患者さんが必要とする成分だけを輸血する成分輸血が主流となっています。

では、どの様に使われているかと言いますと、6ページの疾病別輸血状況という円グラフにありますように、約半分は悪性新生物(がん)の患者さんの治療に使われており、次いで血液及び造血器、そして、循環器系、消化器系と続いております。がんの患者さんはほとんど入院して治療しており、ほとんどが血小板を輸血しており、多少症状の重い患者さんになりま

すと、血小板だけを輸血しても効果が得られないという場合があります。その場合にはHLA(白血球)の型まで合わせて輸血します。がんの患者さんは年々増えていまして、輸血用の血液は毎年使われる率が増えております。

赤血球の在庫については、12ページにありますので参考にして下さい。毎日朝6時に各都道府県の赤血球の在庫がどの位あるか調査されます。だいたい1日、県内では350人分の赤血球に関しては輸血用血液が使われます。その3日分を100%の在庫としてみています。なぜ3日分かと言いますと、それだけ蓄えがあれば、余程大きな緊急手術があってもたえられるというようです。時期によって、冬場とか、3月の終わりから4月にかけて、年度末、年度始めは献血者が非常に減り、当然のことながら在庫が減ります。

年代別献血状況については、今は少子高齢化が急速に進んでおりますが、それでも10代、20代、30代、40代の方々に約8割位を支えています。10代、20代で約3割ありますので、これだけの若い方々が献血を支えている状態にあります。又、年代別輸血状況については、84.9%が50歳以上の方々に使われております。以前ですと、なかなか治療の出来ないがん、あるいは疾患の患者さんがおりましたが、今は延命治療も進んでおり、そのために恒常的に血液が必要となっております。現在、ほんとうに多くの血液が使われており、このまま使われて、若い方がどんどん減っておりますので献血者が少なくなるのは、仕方のないこと、そうなりますと平成39年には全国で100万人分の血液が不足すると言われております。昨年の献血者が全国で510万人、平成17年ですと630万人おりました。毎年下がっております。人数が下がっているのにどうしているのかと言いますと、以前は200ml献血だったのが、400mlいただくと言ったように量的にまかなっております。血液は生ものですので使用期限がありますので、一時期に多くなっても困ります。一度に多く使う場合もありますので、全国で相互融通をしております。全国のネットワークを構築して血液を切らすことのないようにしております。

献血には色々なスタイルがあります。又、16歳から69歳までという年齢制限があります。それ以上の方はどうぞ若い方に献血に協力するよう声掛けをしていただければと思います。



ゲストスピーカー、早坂 勤様